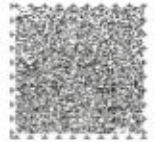




平成30年7月13日
第116号

発行 福岡視力障害センター
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365

ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



就労移行支援(養成施設)入所式

平成30年4月9日(月)、就労移行支援(養成施設)の入所式が今年も無事に執り行われました。今年も、男性7名の新入生を迎えています。自立



訓練からの利用者も数名いらっしゃいますが、新しい生活の出発には、一様に不安な表情が見られました。そんな中先輩である

自治会長からのお祝いの言葉は、心強かったことと思います。これからの国家資格取得に向けての3年間、学習面に限らず、多くの困難が立ちはだかる事があっても、負けない心で受け止め、学友・職員皆でセンター生活を乗りこえたいと思います。



新入生代表挨拶

日増しに暖かさが増し、さわやかな春の気候があふれるこの良き日に、私達は晴れてこの福岡視力障害センターに入所します。

本日は、私たちのために、このような入所式を行って頂きありがとうございます。

これから始まる三年間を人生の転機として、新たな決意と共に三療師になることを目指します。

そして、三療師としての技術や知識の習得のみならず今後私達が進むべき道をはっきりと見定め、もう一度人生の新しい一歩を歩みたいと思います。

視力障害というハンディキャップを持ちながら学ぶことは困難だとは思いますが、同じような悩みを持つ人やその家族、周囲の人々に為せば成るということを、そして今後の将来にも希望が持てることを私たち自身で証明していきたいと思えます。

この場所は私たちが人間的にも成長し、将来の

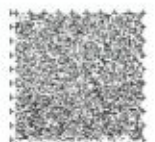
希望を見つけるのに相応しい場所であると思います。

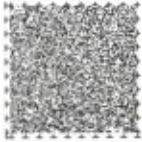
私たちは、この恵まれた環境と設備の中で、仲間と共に、真摯に勉学に励み、実りあるものとなるよう努力していきたいと思えます。

最後に職員の皆様、諸先輩方何卒温かくご指導ご鞭撻の程、並びに家族へのご支援の程をよろしくお願い申し上げます。新入生代表の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

平成30年4月9日
新入生代表 江口健一





新入生の抱負

小川 仁史さん

まずは、3年間で卒業することを第一目標として学校生活を過ごし、あん摩、鍼、お灸の3つのうち最低でも1つは合格して卒業を目指します。

江口 健一さん

この度、福岡視力障害センターに入所することができ三療師の資格取得を目指していくこととなりました。この選択をするまでには多くの人のサポートや後押しがあり進むべき道を決めることができたのだと思います。これまで支え導いてくださった人たちに感謝すると共に、そのご厚意に応えるためにも努力を惜しまず勉学に励みたいで

匿名希望さん

3年間、しっかり技術と座学の知識を学び、国家試験に合格できるように頑張ります。

富永 悠嗣さん

私は、自立訓練（機能訓練）から就労移行支援（養成施設）へ進みました。自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、点字、日常生活など色々なことを学び、色々なことが変わりました。これからは、家族を支えていかなければいけないので、三療師になるためにしっかりがんばりたいと思います。

西村 博文さん

昨年11月からの自立訓練を経て、この度、就労移行の課程がスタートしました。聞き慣れない用語や知識、技能に困惑している日々ですが、1日でも早く自分のペースとライフサイクルを見直し、学習に取り組める様にしたいと思っています。新しい気持ちで頑張ってみます。

H.Yさん

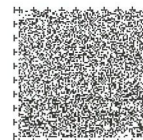
毎日が勉強で知識もたくさん学びより多く経験し技術も習得して真面目に模範となり立派なあんま師などになり、人間的にも技術者としても尊敬され社会に出ても福岡視力障害センター出身者は良いねと言われるようになり一年生みんなと協力し、助け合い深め合い高め合っていきたいです。

三宅 学さん

一日一生



新入生ハイキング



平成30年4月13日、春の陽気の中で当センター恒例の新利用者ハイキングが行われました。

4月9日から新たに当センター就労移行支援を利用開始した1年生のうち5名と、自立訓練利用者3名が、お互いの交流を深め、これから始まる長い訓練への決意を固めるため参加しました。

コースは、九州国立博物館見学、太宰府参拝、アップルストアでのiPhone研修です。

九州国立博物館では、博物館スタッフの皆さまからの特別講義で、古代の土器や衣服を手で触れながら解説してもらおうという貴重な体験ができました。太宰府では、学問の神である菅原道



真公に学業成就を祈願しました。太宰府は福岡在住の方には馴染みですが、受験生、訓練生とこれま

でと違う立場になったことで、皆さん真剣な表情でした。参拝の後味わった梅ヶ枝餅も、新しい仲間と食すことで一味違ったようです。



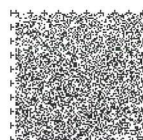
締めはiPhone研修です。iPhoneはもともと視覚障害者向けのサービスが充実しています。愛用している利用者も多かったのですが、全盲状態でも操作できる「Voice Over」のような独特の機能については知らないことも多く、ご自分のiPhoneを今度さらに活用できると好評でした。

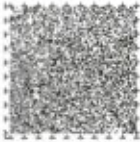


新利用者オリエンテーションの締めくくりとして、皆さんが楽しく過ごしたハイキングとすることができました。

平成30年度年間行事予定表

4月5日	始業式 前期開始(～9月21日)	11月18日	Eyeあいフェスタ(視覚障害者福祉フェスティバル)
4月9日	入所式	11月下旬	総合防災訓練
4月13日	新利用者ハイキング	12月13日	スポーツ訓練発表会(後期) もちつき大会
6月26日	スポーツ訓練発表会(前期)	12月15日	冬季休業(～1月6日)
6月28日	訓練公開	12月18日	解剖見学実習(1年生)
7月5日、6日	神戸センターとの親善スポーツ・文化交流会	2月22日	再理療教育閉講式
7月14日	夏季休業(～8月26日)	2月23日	第27回あん摩マッサージ指圧師国家試験
7月中旬	総合防災訓練	2月24日	第27回はり師・きゅう師国家試験
7月31日	解剖見学実習(2年生)	2月27日	卒業式
8月26日	卒後研修会		終業式
9月25日	後期開始(～2月26日)	3月下旬	国家試験合格発表
10月1日	再理療教育開講式		
10月20日、21日	卒後特別研修会		





平成29年度国家試験結果と進路状況

国家試験結果

平成30年2月24日(土)、25日(日)に福岡センターを会場に第26回あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験が実施され3月28日(水)午後2時に結果発表がありました。福岡センター及び全国の結果は以下のとおりです。

【福岡センター 新卒】

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	7名	6名	85.7%
はり師	7名	3名	42.9%
きゅう師	6名	3名	50.0%

【福岡センター 既卒】

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	6名	0名	0%
はり師	7名	0名	0%
きゅう師	6名	0名	0%

【全国平均 新卒】

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	1,385名	1,280名	92.4%
はり師	3,454名	2,554名	73.9%
きゅう師	3,453名	2,712名	78.5%

【全国平均 既卒】

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	199名	35名	17.6%
はり師	1,168名	113名	9.7%
きゅう師	1,102名	133名	12.1%

進路状況

平成29年度卒業生の進路状況について、以下のとおり報告します。

(H30.5.1現在)

進路	人数(人)
ヘルスキーパー	1
就職活動中	2
進学	1
国家資格未取得者	1
その他(独自事業希望者)	2
合計	7

センターに関するQ&A

Q: 現在仕事をしています。(病気療養中で休職しています) 訓練を受けるために仕事を辞めなくてはならないのでしょうか?

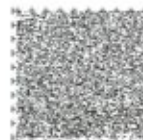
A: すぐに、仕事を辞める必要はありません。官公庁や民間企業に在籍している場合、原職復帰している事例も多く、まずは一人であれこれ悩まず、復職に向けての情報収集の一つとして、当センターに相談してください。自立

訓練(機能訓練)が必要な場合は、他の組織と連携を取りながら進めます。

また、日本盲人会連合の総合相談室やタートルの会(中途失明者の原職復帰を考える会)でも、その人の状況に応じて適切なアドバイスや復職に向けての具体的な手順、方法などを親身になって応じてくれますので、あきらめないで関わる事が大切です。



H20年卒(31期生)南悦雄氏より後輩へのメッセージ



福岡視力障害センターの卒業生並びに在所生の皆様こんにちは。卒業生の皆さんにおかれましては、それぞれの地域の中において、公的な立場で、あるいは「あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師」として御活躍されている事と思います。また、在所生の皆さんは日々学業にそしてクラブ活動等で頑張っている事と思います。

申し遅れましたが、私は平成20年専門課程第31期卒業の南悦雄と申します。鹿児島在住です。私は大学卒業後、33年間、サラリーマン生活を送り、56歳で当センターに入所致しました。

当時を振り返りますと年齢的な問題、家族の反対、視力の悪化などもあって、最後の最後まで入所する事を迷いました。最終的に入所への背中を押してくれたのは指導課(現在の支援課)の先生方、そして、最終的には全面的に協力し応援してくれたのは家族でした。入所してからの3年間は色々な面で苦しい事の連続でした。途中で何回も投げ出さなくなりましたが、これを支えてくれたのは家族であり、センターの先生方だったと思います。一方で、自分自身常に心の励みとしていたのは、5年後、10年後、地域の中で「あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師」として、また、一社会人として地域の中で貢献している自分の姿を想像しながら頑張っていました。

私は、平成20年に卒業しましたが、その年の5月6日には開業致しました。今年が開業して丁度10年となります。この間、延べ約10,000人強(年平均1,000人弱)の患者さんを治療してきました。平成25年10月からは近くのデイサービスに出向き、月曜日から金曜日まで1日1時間(10時30分～11時30分)、機能訓練士として高齢者の治療にも



もあたっております。私は、サラリーマン時代から、そしてセンターを卒業してからも地域のボランティア活動、

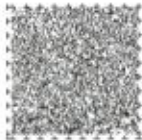
地域の行事、そして公的な活動にも積極的に参加してきました。それが、今の仕事に大いに役立っていると思います。これからも、これらの活動は可能な限り続けたいと思います。

又、一方で自分自身の技術の向上、施術のマナー化を防止する意味で様々な研修に参加しております。プライベート面では、週末にゆっくり温泉に入り、孫たちと遊ぶことが何よりのストレス解消になっております。(センターを卒業してから9歳の孫を筆頭に6人の孫が生まれました。すっかりじいちゃんです。)今、私が70歳を目前にして、このように現役で日々充実した生活が送れているのも、振り返ってみますと、あの苦しかったセンター時代の3年間を投げ出す事なく乗り切ってきた自分へのご褒美だと思っています。

私達、視覚障害者は健常者に比べて、行動面でハンディがあるのは事実です。ただ、それに甘えていては道は開けません。内向きの仕事だけでは長続きしないと思います。少しでも外に目を向けて活動してみてください。我々は、それができる資格を持っています。そうすることで、自分の行動、仕事に幅がでてくると思います。

最後になりますが、卒業生の皆さんにおかれましては、福岡視力障害センターの卒業生である事を誇りにして頑張ってくださいと思います。皆様方が健康でそれぞれの地域で「あん摩・マッサージ・指圧師、鍼師、灸師」としてまた公的な立場で御活躍される事を祈っています。





職員の異動

平成30年4月1日

〈転出〉

二星 章宏(庶務課長補佐) (近畿厚生局へ)

〈転入〉

山本 裕理(庶務課長補佐) (近畿厚生局より)

〈育休復帰〉

工藤 葉子(支援課生活支援専門職)

新職員の紹介

【庶務課】 山本 裕理

4月1日付で近畿厚生局より課長補佐に着任しました山本です。福岡センターは福岡市に所在しておりますが、糸島半島にあり、海に近く、趣味が

釣りの私にはこの上ない場所です。また、福岡は初めての勤務となりますので、フレッシュな気持ちで業務に励みたいと思っております。皆様よろしくお願ひします。

利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に宿舎・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

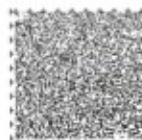
2 利用に関する問い合わせ

サービス利用や利用料等の詳細、パンフレット・紹介ビデオ(DVD)等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

電話：092-807-2844(支援課直通)

092-806-1361(代表)

Eメール：shienka-fukuoka@rehab.go.jp



編集後記

I.K.

今年も各地から1年生がやってきました。最初の指圧の授業を終えて「指が痛いよ～」と言っているの聞き、自分も初めて陰陽五行論を学んだ時は「これからどんな道を歩むのだろう」と不安に感じたものでした。でも大丈夫、それらは皆が通ってきた道なので、これからも一緒に頑張っていきましょう。

専門課程2年 成富浩明

平成30年度が始まり、センターの理療科には7名の新生が入新に加わりました。今年は春から気温も高く過ごしやすいい日々が続きましたが、油断することなく体調管理に気を付け新入生は新しいことへのチャレンジをして在所生もそれぞれの目標に向けてこれからも共に頑張っていきたいと思います。